

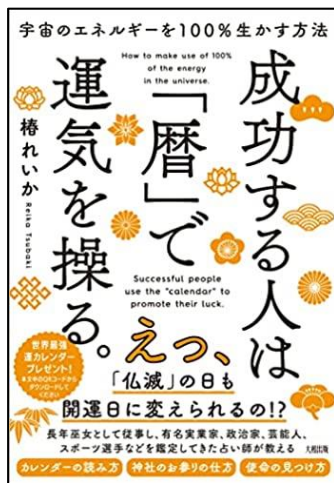


新しい時代の問題、マーケティングを使って解決します！

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター

Ver.4 第91号

「成功する人は暦で運気を操る」を読みました！



皆さま、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。今年こそ新型コロナに振り回されない1年にしたいですね(笑)。さて、今年最初にご紹介するのは「成功する人は「暦」で運気を操る (大和出版、¥1,650、椿れいか著)」です。新春らしいテーマだと思いますし、ページ数も少ないので、サラッと読むことができます(笑)。

皆さんのお家にあるカレンダーを見てください。そこに「大安」とか「仏滅」とかというキーワードが書かれているはずです。専門的にいえば六曜(六輝)と言い、先勝、友引、先負、仏滅、大安、赤口の6つになります。日の良し悪しについて、僕は仏滅と大安くらいしか知りませんが、残りの4つにもそれぞれ意味があります。

六曜だけではありません。暦には吉日、凶日、二十八宿、十干十二支、二十四節気といったものもあります。ただ、最近のカレンダーや手帳にはこうした情報を削除して簡略化していることが多いです。

本書では良い日と良くない日について暦を使って確認し、良い日には行動して良くない日には行動を慎むことで、運気を上げて成功に導くことを伝えています。著者は神道系の家に生まれ、子どもの頃から巫女として活動。自ら起業したのですが、その際にも暦を使った占いを行った結果、わずか3年で年商3億円を達成しています。スゴイですね(笑)。現在はアメリカのシアトルに移住して、占いやコンサルティングを行っています。書名のとおり暦を使って成功されたのですね(笑)。



さて、普通のカレンダーや手帳では六曜くらいしか暦情報は掲載されていません。どうすれば詳しい情報を得ることができるのか。本書において紹介しているのが「神宮館高島暦」という本です。Amazonで販売されています。値段はちょっと高め、2,310円です(苦笑)。

実際に購入して中身を拝見しました。暦は詳細に書かれていて、予備知識に関する解説もあります。他にも方位吉凶図、二十八宿吉凶法、九星別年運・月運、人相、手相、家相、姓名判断、墓相、健康管理、冠婚葬祭の心得など、盛りだくさんの情報です。特に九星別年運・月運というカテゴリーに興味を湧きました。九星というのは一白水星とか二黒土星といった名称で9つあります。僕は二黒土星で、今年はメッチャ良い年周りみたいです(笑)。

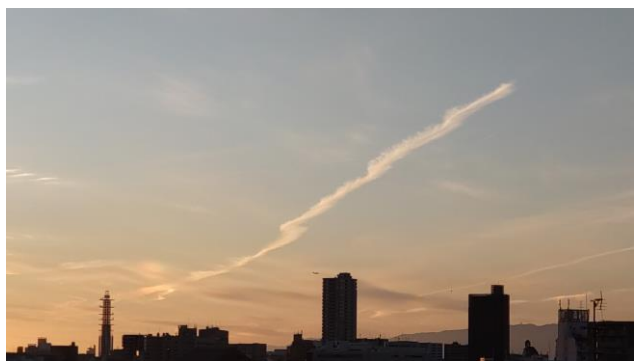
正直なところ「成功する人は暦で運気を操る」と「神宮館高島暦」の中の暦情報だけで、必要十分ではないかと思います。それ以外の情報は「おまけ」と考えておくほうが良いでしょうね。ただ、知らないことが多いので読み物として面白かったです！



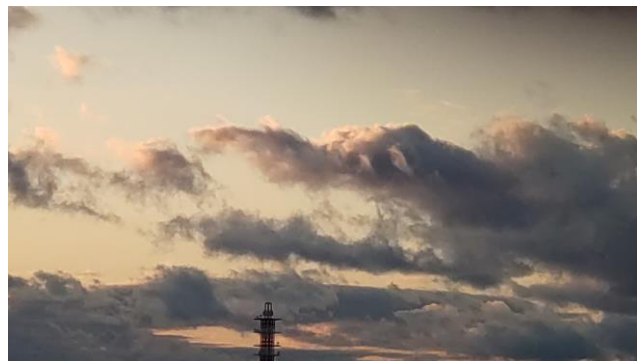
ちょっと横道にそれますが、1月3日にダイソーで買い物していると、カレンダーを置いている場所に「運勢暦」という本が陳列されていました。「どんな内容なのか?」と思い、ページをめくると「神宮館高島曆」にそっくり(笑)。興味が湧きましたし、値段も110円なので買い物かごに入れました!

この本は、曆と九星別年運・月運に関する情報がメイン。なので「成功する人は曆で運気を操る」とこの「運勢暦」があれば、曆を使うことができますはず。来年は「運勢暦」を2冊買って、事務所と自宅に置いておこうと考えています。

今まで曆を活用するという視点はありませんでした。大安も仏滅も関係ないというスタンスでしたが、還曆を迎えたこともあり、これからは積極的に曆を活用しようと思います。皆さんも興味がありましたら、是非手に取ってご覧ください! スペースが少し余りましたので、昨年12月からよく見かけるようになった龍雲(龍神雲)の写真を貼り付けておきます!



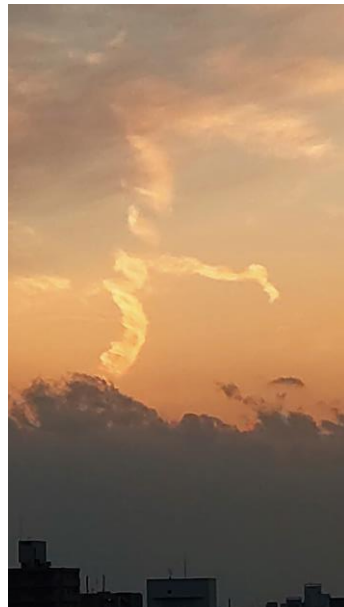
斜め上に上っています!



目を見開いて大きく口を開けた龍神様



うねって昇る龍神様が →



鳳凰様に変化しました!